



沓掛小学校だより

11月号

未来を拓く ~元気・やさしさ・かがやく瞳~

NO. 583

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

学校と家庭の連携が子供を育てる

校長 師岡 孝明

朝夕の気温もだいぶ低くなり、冬の到来を間近に感じる今日この頃となりました。今年は秋雨が長く続くとともに、気温の低い日が例年より早く訪れました。毎年のことですが、11月（霜月）になりますと、今年もそろそろまとめの時期になってきたなど感じます。学校においても、2学期の折り返しを過ぎたこともあり、学力向上や生活習慣の確立に今まで以上に目が向くようになってきています。

ところで、学力とは何でしょうか。「学力」の要素として考えられることは、①基礎的・基本的な知識や技能の習得②知識や技能を活用して、課題解決をするために必要とする思考力・判断力・表現力等の育成③学習に対する意欲とされています。

沓掛小学校では今年度までの3年間「算数科」の研究を通して、児童の思考力・表現力の育成を図ってきました。その結果、子供たち一人一人が自分の言葉で考えを发表或し、友達の考えと自分の考えを比べたり、自分の考えを文章や図などで表現できる力が育ってきていると感じます。

また、2学期初めにタブレットが導入されたことによって、ICT機器を含め、一単位時間の授業の組み立てや学習環境等の工夫にも努めているところです。しかし、学習に対する意欲を持続するためには、授業の工夫とともに、励ましの場面も大変重要です。子供たち一人一人の未来を広げるためにもぜひ、御家庭においても学校の学習に関心をもっていただき、家庭学習への励ましと見届けに今後とも御協力をお願いいたします。

一方沓掛小学校では基本的な生活習慣の確立において特に「挨拶」の指導を重点化させています。「挨拶」を大切にして、すすんで挨拶できる子供

たちになってほしいと願っています。

沓掛小学校の朝の様子を見ていますと、登校をしてくる子供たちの半分程度しか、元気に挨拶できていない現状があります。中には下を向き元気がなく、声を掛けても挨拶ができない子もいます。挨拶ができていない子は一日の生活リズムが乱れていることが多いと言われています。

ある文献によりますと、元気な挨拶を支えているのは「早起き」だそうです。子供の寝起き習慣は、基本的な生活習慣の中でも極めて大切です。最近の子供たちの様子から、体を動かさない・テレビやゲームに熱中している・だらだらして夜更かしをしている等があげられます。子供は9時前に寝る子を早寝群、他を遅寝群と区別をすることがあるようです。両方を比べてみますと、様々な点で早寝群が勝っているという結果が出ています。

皆様もよく知っている「早起きは三文の得」という諺がありますが、三文とは、「体調・生活リズム・時間的な余裕」という考えもあるようです。生活リズムをしっかりとつくと、時間的に余裕が出てきて、怪我もなく体調もよくなります。そして心に余裕も出てきます。子供たちが元気で楽しく笑顔で学校生活が送れるように、一日のスタートに早起きを試みてはいかがでしょうか。各御家庭あつての学校生活と考えています。ぜひ家庭と学校が互いに協力しつつ、人としての資質を育てていきたいと思ひます。

学力の向上や生活習慣の確立など、様々な面で学校と家庭の協力がなければ子供たちは育ちません。今度とも御協力のほどよろしくお願ひいたします。